

日本混相流学会 2008 年度第 1 回理事会・議事録

日時：平成 20 年 8 月 10 日(日)12:30-13:45

場所：会津大学 厚生棟 2 階 櫛

出席者(理事)：矢部彰(会長)、社河内敏彦(筆頭副会長)、阿部豊(情報担当副会長)、道奥康治(情報部会長)、齋藤隆之(企画部会長)、竹村文男(総務部会長)、梅川尚嗣(関西地区担当理事)、伊藤幸雄(東北地区担当理事)、杉山弘(北海道地区担当理事)

出席者(オブザーバー)：塩見 洋一(インターネット運営委員長)、細川茂雄(オーガナイズド混相流フォーラム実行委員長)、功刀資彰(混相流技術リエゾン専門委員長)、小泉安郎(研究企画委員長)、近藤健(事務局)

議題と配布資料：

1. 会長挨拶、理事紹介、理事役員名簿確認 [資料 2008-1-01]
2. 前回議事録の確認 [資料 2008-1-02]
3. 今年度理事会開催スケジュールについて [資料 2008-1-03]
4. 委員会委員 [資料 2008-1-04]
5. 地区代表の選出について [資料 2008-1-05]
6. 学会賞の選考準備について [資料 2008-1-06]
7. 情報部会報告 [資料 2008-1-07]
8. 企画部会報告
9. 国際部会報告 [資料 2008-1-08]
10. 学生会報告
11. リエゾン委員会報告
12. その他
平成 20 年 12 月 1 日施行新非営利法人制度について [資料 2007-1-09]
名簿発行について
会計報告について
リエゾンについて(担当および活動拡大)
ICeM 委員会について

議事：

1. 会長挨拶、理事紹介、理事役員名簿確認
出席した理事・役員の自己紹介を行った。
2. 前回議事録の確認
・竹村総務部会長から資料 2008-1-02 に基づき 2007 年度第 5 回議事録の確認があった。
3. 今年度理事会開催スケジュールについて

・2008年度理事会のスケジュール調整を行い、下記の通り計4回開催することとした。

- 第1回：平成20年8月10日(日) 12:30-13:45 会津大学
- 第2回：平成20年10月4日(土) 13:00-17:00 東京
- 第3回：平成21年3月7日(土) 13:00-17:00 大阪
- 第4回：平成21年7月4日(土) 13:00-17:00 東京

ただし、予備日として12月20日に臨時の理事会を開催する可能性もあることを確認した。

・旅費支給額の計算方法については、総務委員長作成の原案を承認した。

4. 委員会委員

・竹村総務部会長から資料2008-1-04に基づき各種委員会委員長について説明があった後、次期ICeM委員会について理事会での検討が依頼された。

5. 地区代表の選出について

・竹村総務部会長から資料2008-1-05に基づき、評議員を推薦する地区代表者の説明があった。次年度は関東地区で交代。現代表者の有富先生から内藤様へ依頼。承認後、会長より依頼する旨、了承された。

・2名中1名交代になる監事については、社河内筆頭副会長が調整を担当することとした。

・評議員、監事選挙までのスケジュールを確認した。

6. 学会賞の選考準備について

・矢部会長より、2008年度学会賞選考委員長として社河内敏彦氏が推薦され、理事会として承認した。

・表彰規定に基づき、2008年度名誉会員選考委員長を社河内筆頭副会長が担当することを確認した。

・論文賞の推薦を論文委員長に依頼してはとの意見が出された。

7. 情報部会報告

・道奥情報部会長より、別添資料に基づき編集委員会の活動について、8月開催の新旧合同編集委員会の議題、学会誌の内容(特集記事の企画)編集委員会の開催日程が報告された。

・竹村総務部会長より論文審査委員会の報告がなされた。報告内容は(1)査読報告書の雛形の変更と(2)論文などの種目名等の変更についてである。(1)については新しい規程を次回の理事会に論文審査委員長に提出していただくこと、(2)については次回理事会で議論後、その結果をインターネット委員長に報告することが了承された。

8. 企画部会報告

・齋藤企画部会長より、2008年度の活動計画について口頭で報告があった。

・研究企画委員会については将来的に整理が必要であるとの意見が出された。

9. 国際部会報告

・石井国際部会長の代理で竹村総務部会長より、資料2008-1-8に基づき、2007年度の活動が報告された。

10. 学生会報告

・梅川学生会担当理事より、2008年度の活動について説明があり、次期開催地の熊本大学の川原先生より担当を二人ほど紹介していただくこと、学生会セミナーの開催時期を検討中とのこと。

11. リエゾン委員会報告

リエゾンについてはその他の議題にて議論。

12. その他

(1)平成20年12月1日施行新非営利法人制度について

混相流学会事務局より、[資料2007-1-09]に基づき平成20年12月1日施行新非営利法人制度についての簡単な説明があった。社河内筆頭副会長に内容の整理をして頂き、次回の理事会で議論することとなった。

(2)名簿発行について

矢部会長より名簿発行についての提案があった。現在は互いの連絡がとりにくいのが提案の理由。個人情報保護の点も含めて上野副会長に検討依頼。

(3)会計報告について

総会でも指摘されたように、本会の会計報告は不十分な点が多い。貸借対照表への移行など検討すべきではとの意見。矢部会長が議論のための内容整理を行う。

(4)リエゾンについて

・竹村総務部会長より、現在のリエゾン関連の担当は複雑である。理事のリエゾン担当を廃止し、企画部会長が統括すべきではとの提案があったとの報告。議論の末、了承。

・マイクロバブルだけではなく、他の分野への活動拡大を図るべきとの意見があり、功刀リエゾン専門委員長より、技術の提案を、企画委員会を通して募集したいとの旨回答。

(5)ICeM 委員会について

・阿部副会長、細川オーガナイズド混相流フォーラム実行委員長より ICeM 発刊の経緯と現在までの状況について説明あり。しかし、前 ICeM 委員長の賞雅先生への負担が大きいことから、来年 5 月に向けた体制を整える必要あり。宣伝効果等は大きいことから ICeM 発行の重要性は認識、ただし安定運用が課題となる。今後の対応については阿部副会長に検討依頼。

以上

総務委員長：竹村文男